

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	研究ゼミナールB (Seminar of Study B)		
ナンバリングコード	L31205	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 応用レベル 研究・資格・インターンシップ
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 後期
必修・選択区分	選択		
授業コード	L120560	クラス名	池見研究室
担当教員名	池見 洋明		
履修上の注意、履修条件	地理情報システムを使用しますので、研究ゼミナールA、地理情報技術もしくは地理情報処理演習の受講が必須条件です		
教科書	必要に応じて配布します		
参考文献及び指定図書	必要に応じて配布します		
関連科目	地理情報処理演習、地盤工学、測量学および実習		

○授業の目的・概要等	
授業の目的	研究ゼミナールAに引き続き、空間情報工学、応用地質学に関する知識、技術の習得を行いません。
授業の概要	このゼミナールでは地理情報システム技術の応用編としてデータの作成を行いません。この中で既存の紙地図情報のデジタル化、現地調査、測量などを実施します。また、ここで作成、取得したデータは4年次の卒業研究データとして活用することになります。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング 双方向授業 他
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	該当しない

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	双方向に授業に関わる積極性をもつ。			25点
【知識・理解】	地理情報システムや地域の地形・地質など地理空間情報に関して理解する。			25点
【技能・表現・コミュニケーション】	地理情報システムの基礎技術を用いて、様々な空間的、地理的な課題に関して地図化、可視化を行なえる。			25点
【思考・判断・創造】	目的に応じた文章作成、地図などの利用や文献等の適切な情報を収集できる。			25点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
 進捗状況に応じて、卒業研究を見据えた課題を提示します。その課題に対して各回で進捗状況を確認して評価します。期末テストは行いません。

○その他

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名：研究ゼミナールB (Seminar of Study B) 担当教員：池見 洋明	授業コード：L120560
学修内容		
1. ガイダンスと課題の説明 ゼミナールのスケジュールと課題を説明します。		
予習：	(約2.0h)	
復習：各課題に対してインターネット等を使って調査する	(約2.0h)	
2. 課題調査 研究ゼミナールAの課題を継続するか、あるいは新たに選定して、その調査を実施する。		
予習：進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る	(約2.0h)	
復習：各課題に対してインターネット等を使って調査する	(約2.0h)	
3. 課題調査 研究ゼミナールAの課題を継続するか、あるいは新たに選定して、その調査を実施する。		
予習：進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る	(約2.0h)	
復習：各課題に対してインターネット等を使って調査する	(約2.0h)	
4. 課題調査 研究ゼミナールAの課題を継続するか、あるいは新たに選定して、その調査を実施する。		
予習：進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る	(約2.0h)	
復習：各課題に対してインターネット等を使って調査する	(約2.0h)	
5. 課題調査 研究ゼミナールAの課題を継続するか、あるいは新たに選定して、その調査を実施する。		
予習：進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る	(約2.0h)	
復習：各課題に対してインターネット等を使って調査する	(約2.0h)	
6. 課題調査 研究ゼミナールAの課題を継続するか、あるいは新たに選定して、その調査を実施する。		
予習：進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る	(約2.0h)	
復習：各課題に対してインターネット等を使って調査する	(約2.0h)	
7. 課題調査 研究ゼミナールAの課題を継続するか、あるいは新たに選定して、その調査を実施する。		
予習：進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る	(約2.0h)	
復習：各課題に対してインターネット等を使って調査する	(約2.0h)	
8. 課題調査 研究ゼミナールAの課題を継続するか、あるいは新たに選定して、その調査を実施する。		
予習：進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る	(約2.0h)	
復習：各課題に対してインターネット等を使って調査する	(約2.0h)	

○授業計画	科目名：研究ゼミナールB (Seminar of Study B) 担当教員：池見 洋明	授業コード：L120560
学修内容		
9. 課題調査 研究ゼミナールAの課題を継続するか、あるいは新たに選定して、その調査を実施する。		
予習：進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る	(約2.0h)	
復習：各課題に対してインターネット等を使って調査する	(約2.0h)	
10. 課題調査 研究ゼミナールAの課題を継続するか、あるいは新たに選定して、その調査を実施する。		
予習：進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る	(約2.0h)	
復習：各課題に対してインターネット等を使って調査する	(約2.0h)	
11. 課題調査 研究ゼミナールAの課題を継続するか、あるいは新たに選定して、その調査を実施する。		
予習：進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る	(約2.0h)	
復習：各課題に対してインターネット等を使って調査する	(約2.0h)	
12. 課題調査 研究ゼミナールAの課題を継続するか、あるいは新たに選定して、その調査を実施する。		
予習：進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る	(約2.0h)	
復習：各課題に対してインターネット等を使って調査する	(約2.0h)	
13. 課題調査 研究ゼミナールAの課題を継続するか、あるいは新たに選定して、その調査を実施する。		
予習：進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る	(約2.0h)	
復習：各課題に対してインターネット等を使って調査する	(約2.0h)	
14. 課題調査 研究ゼミナールAの課題を継続するか、あるいは新たに選定して、その調査を実施する。		
予習：進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る	(約2.0h)	
復習：各課題に対してインターネット等を使って調査する	(約2.0h)	
15. 最終報告 これまでの成果をまとめ、卒業研究の背景、目的と研究手法について発表する。		
予習：	(約2.0h)	
復習：	(約2.0h)	
16.		
予習：	(約2.0h)	
復習：	(約2.0h)	